

新型コロナウイルス感染症への対応について

1. 基本方針

市民病院機構は、患者受入に際して病院ごとに役割を分担し、相互に連携を図るとともに、総力を挙げて取り組むことを基本方針としている。

2. 市民病院機構での対応

○令和2年度

令和2年3月3日に神戸市内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されて以降、市民病院機構では神戸市からの依頼・要請に基づき、帰国者・接触者外来を設置するとともに、入院については重症・中等症を中心に新型コロナウイルス感染症患者の受入に対応している。

中央市民病院は市内で唯一の重症患者に対応する特定病院として兵庫県の指定を受け、令和2年11月9日には全国で初めてすべての病床で重症患者の受入が可能な臨時病棟の運用を開始し、軽症・中等症患者の受入を行う西市民病院、西神戸医療センターにおいては新型コロナウイルス感染症の専用病棟を設置し、対応にあたった。

令和2年度は3度（第1波：令和2年3月～、第2波：令和2年6月～、第3波：令和2年9月～）の感染拡大の波が訪れる中、各病院とも通常医療において入院・手術等の大幅な制限を実施せざるを得なかったが、院内感染の経験なども踏まえ、ゾーニング等の感染防止対策を徹底することで、機構の使命である高度医療の提供に努めた。また、ICTを活用し、遠隔診療システムの導入や、患者への面会が難しい中でのWEB面会システムの活用など、状況の変化に迅速かつ柔軟に対応した。

最前線で治療を行う職員の心身の健康確保にも努め、コロナ対応にかかる手当の引き上げや家族等への感染を懸念する職員のために、宿泊施設や車通勤用の駐車場の確保等必要な支援を実施した。

○令和3年度

令和3年4月以降の第4波では、中央市民病院においてコロナ受入病床はほぼ満床の状態が続いた。また、変異株の影響もあり、人工呼吸器管理を必要とする重症患者も急増した。西市民病院・西神戸医療センターにおいては、重症に近い中等症患者が増加し、院内で重症化した場合はその対応も行った。令和3年7月下旬からの第5波を経て、令和4年1月より感染力の強いオミクロン株が主流の第6波に入り感染者数が増加したが、各病院とも、感染状況に合わせて受入病床を拡大するとともに、制限を行いつつも手術等の通常診療を継続した。

令和3年10月には中央市民病院で蓄積したコロナ対策のノウハウを共有するために『新型コロナウイルス感染症対策マニュアル』を作成し、市内のコロナ対応医療機関や保健所に配布した。

○令和4年度

令和4年3月下旬以降は感染状況が落ち着き、新規感染者数の減少に合わせて一般診療の入院や手術の制限を緩和したが、7月に入って再度感染が拡大し、第7波に入った。

新規感染者数が過去最多を更新する等、これまでにないほどの感染拡大となり、発熱外来への患者の殺到や救急要請の増加、また、職員やその家族の感染による自宅待機者の急増も相まって、受入体制を継続するのが困難な状況ではあったが、職員一丸となり、市民病院としての責務を果たした。

各病院とも引き続き感染拡大の波に合わせて必要な病床を柔軟かつ迅速に確保し、新型コロナウイルス感染症患者の受入および治療と救急医療・高度医療の両立に努めてまいりたい。

3. 新型コロナウイルス感染症対応における各病院の役割

市民病院機構ではこれまで市内の新型コロナウイルス感染症入院患者の約3割を受け入れている。治療にあたっては医師・看護師など通常以上の治療体制が必要となることから、医療機能を一部制限(休床)せざるを得ないが、「市民の生命と健康を守る」という使命のもと、職員が一丸となってこの難局に対応し、救急医療や小児・周産期医療、5疾病に対する専門医療など、市民の生活に不可欠な医療を継続して提供した。

○コロナ患者受入状況と通常医療の制限の状況

(12月13日時点)

	中央市民病院	西市民病院	西神戸医療センター	計
主な受入患者	重症患者	軽症・中等症患者	軽症・中等症患者	-
コロナ病床数 ※過去最大時(第4・5波時)	46床(うち重症36床) ※最大時46床(重症36床)	20床 ※最大43床	36床 ※最大45床	102床 ※最大134床 市全体最大463床 (うち重症53床)
備考	臨時病棟および 感染症病床で受入	最大時は2病棟を コロナ専用病棟化	最大時は2病棟を コロナ専用病棟化	-
コロナ入院患者 受入数累計	2,344人	1,066人	1,347人	4,757人 ※市全体14,852人
休床数 ※過去最大時(第4波時)	55床 ※最大242床	30床 ※最大100床	39床 ※最大96床	124床 ※最大438床
通常医療への影響 ※過去最大時(第4・5波時)	2割程度 ※最大4割程度の 入院・手術を制限	1割程度 ※最大4割程度の 入院・手術を制限	2割程度 ※最大4割程度の 入院・手術を制限	-
R4(4-9月) 延入院患者数 ※()内はR1比	110,851人 (▲12.0%)	45,617人 (▲22.4%)	56,356人 (▲20.8%)	212,824人 (▲16.9%)